

# 議会 とだ だより



## 9月定例会

No170号  
2011年(平成23年)11月1日

23年度補正予算を可決! さいたま地方法務局戸田出張所跡を購入	2
議会モニターを募集します	3
平成22年度決算のあらまし	5
委員会の審査から	6
そこがききたい(一般質問)	9
委員会行政視察レポート	18

# 議会改革の一環として

# 議会モニター

## を募集します

議会運営等に関して市民の皆様からの意見・提言などを幅広くお聴きし、議会運営に反映させるため、「議会モニター」を募集します。本会議や委員会を傍聴したり、議会だよりや議会ホームページをご覧いただき、意見・提言を提出していただきます。

### 応募資格

次の①②の要件を満たしている方

- ①18歳以上の市内在住・在勤・在学している方。ただし、公務員は除きます。
- ②議会の仕組みとその運営、市政や地域社会の発展に関心のある方

### 募集人数

15名以内

### 任期

1年 ※報酬なし(図書カード進呈)

### 募集締切

平成23年11月21日(月)

### 申し込み

「応募票」に住所、氏名、年齢、性別、職業、応募理由、自己アピール等を記入して、議会事務局へ直接持参、郵送(〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1)、FAX(433-2212)、電子メール(gikaijimu@city.toda.saitama.jp)で応募してください。応募票は議会事務局で配布しています。ホームページ(<http://www002.city.toda.saitama.jp/gikai/>)からダウンロードもできます。

### 選考方法

書類選考のうえ決定し、結果を通知する予定です。

### 問い合わせ

戸田市議会事務局 (048-441-1800 内線 524・543)

## 「議会モニター制度」のイメージ



# さいたま地方法務局戸田出張所跡を購入

# 23年度補正予算を可決!

## 17会計(一般・特別・水道)の平成22年度決算を認定

平成23年  
9月  
定例会  
9月1日～  
9月27日

9月定例会は、9月1日から27日までの27日間の会期で開かれ、市長から提出された決算・議案など36件と、議員提出議案・委員会提出議案の意見書4件を

審査・可決しました。また、一般質問では、17人の議員が質問に立ち、市政の課題を取り上げて、活発な論戦を展開しました。

◎市税条例等の一部改正  
地方税法等の一部改正に基づき、規定の整備を図る改正です。

【工事請負契約】  
◎1号調整池設備工事請負契約  
①場所…大字新曽字芦原2206番地ほか  
②内容…排水ポンプ等

の機械設備、高圧受電盤等の電気設備  
③工期…平成24年3月26日まで  
④金額及び契約者…1億2955万9500円 荏原実業株式会社 関東支社

市長から提案された議案等は、平成22年度の決算認定17件と、専決処分などの報告7件、4件の条例案件、一般案件として規約変更と請負契約の2件及び6件の補正予算の、合計36件でした。  
↓決算認定4p参照  
そのうち、墓地等の経営の許可等に関する条例と、一般会計補正予算(第3号)の2件は初日に議決しましたが、決算認定は代表監査委員の監査報告を受けてから、また、その他の議案は詳細説明の後、7日に質疑を行い、各常任委員会に付託されました。  
その後4日間にわた

り常任委員会で詳細に審査し、最終日に委員長報告の後、討論・採決が行われました。  
その結果、一般会計決算認定と、市税条例等の一部改正、1号調整池設備工事請負契約の3件は賛成多数で、その他の議案等は全会一致で認定・可決しました。  
↓討論8p参照  
また、議員提出議案1件、委員会提出議案3件が提出され、原案どおり可決しました。  
↓意見書8p参照  
8日から3日間にわたる一般質問では、17人の議員が活発な論戦を展開しました。  
↓一般質問9p、17p

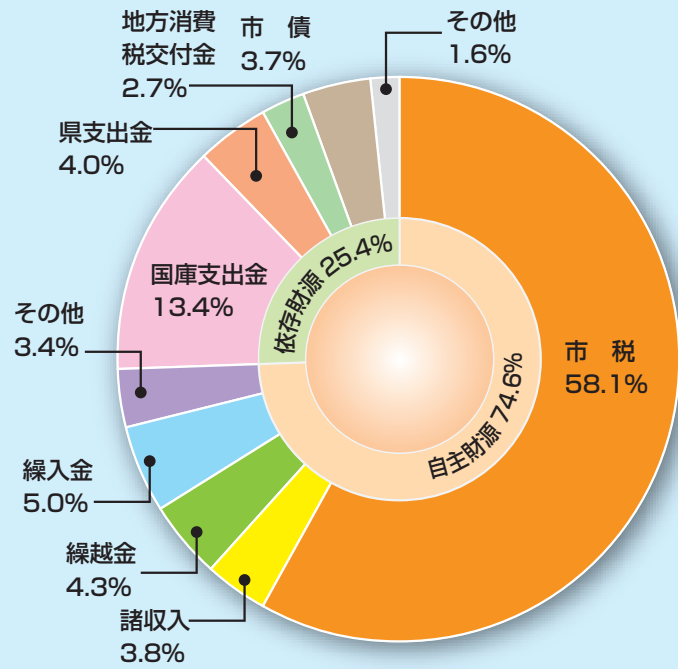
【23年度補正予算(第4号)】  
◎主な歳出の内容は別表のとおりです。  
◎墓地等の経営の許可等に関する条例  
墓地等の設置基準を厳格化するために改正するものです。

①住民基本台帳法改正に伴うシステム改修委託料及び機器賃借料	7754万円
②戸一小前交差点北西角地の用地購入費及び補償金	4826万円
③賃貸物件による保育所を開設する事業者への保育所整備事業費補助金	1724万円
④コンビニ交付サービスで税証明発行を追加するに伴うシステム改修及び事務委託料等	1357万円
⑤上戸田福祉センター建て替えに係る再整備基本計画策定業務委託料	499万円
⑥放射性物質測定業務に係る臨時職員賃金、土壌放射性物質測定業務の委託料	280万円
⑦西部福祉センターいこいの室風呂の給湯ボイラー修繕料	243万円
⑧さいたま地方法務局戸田出張所の既存建物譲渡に係る公有財産購入費	1万円

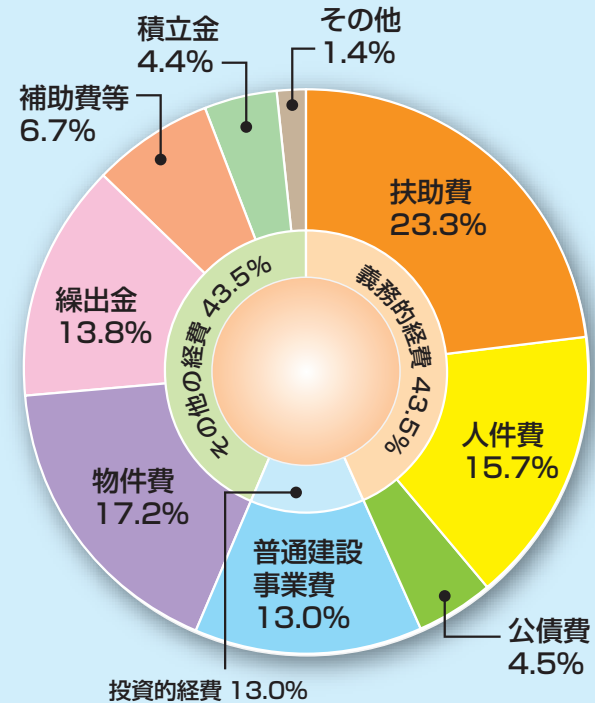


# 平成 22 年度決算のあらまし

## ● 一般会計歳入



## ● 一般会計歳出



### 財政の健全化判断比率の報告

単位 %

健全化判断比率	21年度	22年度
実質赤字比率	(11.87)	(12.00)
連結実質赤字比率	(16.87)	(17.00)
実質公債費比率	5.6 (25.0)	5.8 (25.0)
将来負担比率	43.2 (350.0)	42.0 (350.0)

(注) ①( )は早期健全化基準を示す。  
②赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」表示となります。

### 目的別の歳出内訳

款	構成比(%)
1. 民生費	38.7
2. 土木費	16.1
3. 教育費	14.7
4. 総務費	10.8
5. 衛生費	7.0
6. 公債費	4.5
7. 消防費	3.2
8. 商工費	1.2
9. その他	3.8

## 健全化判断比率とは

- 自治体の財政状況を早期に把握し、破綻を防ぐことをねらいとして、制定されたものです。
- 毎年度、実質赤字比率など4つの財政指標を算定の上、監査委員の審査に付して、議会に報告し、議会・住民のチェックを受け、財政規律の強化を図ることを目的としています。
- これにより、自分たちが住む自治体の財政状況は、「赤字」なのかどうか、「借金」「貯金」はどのくらいあるのかなどが明らかになります。

受け、財政規律の強化を図ることを目的としています。

これにより、自分たちが住む自治体の財政状況は、「赤字」なのかどうか、「借金」「貯金」はどのくらいあるのかなどが明らかになります。

## 財政健全化指標は

# “オールグッド!”

※千円単位は切り捨て

	平成22年度	前年度比
一般会計 歳入(1年間の収入)	446億1,746万円	3.3%減
一般会計 歳出(1年間の支出)	433億9,676万円	1.9%減
特別会計 歳入	238億2,913万円	1.8%増
特別会計 歳出	231億 831万円	2.5%増

(注)特別会計は15会計の合計額です。

水道事業会計	収益的収入	25億 85万円	資本的収入	2,599万円
	収益的支出	21億8,988万円	資本的支出	10億8,679万円

平成22年度決算  
監査報告  
高浪代表監査委員

### すべての会計で健全財政を堅持



歳入 歳入 歳入  
歳出 歳出 歳出  
算書、算書、算書  
歳入歳入歳入  
出決算 出決算 出決算  
事項別 事項別 事項別

すべて3・3%の減少。減少となった主な内訳として、市債15億円、諸収入6億円の減少などが挙げられる。

歳出では、前年度比1・9%の減少。減少の主な内訳として、総務費24億円、民生費2億円などが挙げられる。

特別会計15会計の歳入歳出差引額は約7億円、実質収支額は約6億円の黒字となっている。

明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、地方自治法に準拠して作成されており、その計数は正確であることが認められ、予算執行も、その趣旨に沿い、おおむね適正かつ効果的に執行されているものと認められた。

我が国の経済は、平成21年春を底に、徐々に回復局面に向かってきていた。しかしながら、平成23年3月11日の東日本大震災の影響は、生産活動を低下させ、その後の電力問題も含め、これからの景気動向に与える大きな懸念材料となっている。

このような状況のもと、一般会計の歳入は、前年度と比較して、純利益が5500万円余の減少。要因の一つとして、大型マンション建設に伴う負担金収入が当年度は計上されなかったことが挙げられる。

水道事業の経営指標の一つである有収率は95・0%と高い水準を維持している。

以上、一般会計・特別会計及び水道事業会計は、健全財政が堅持されていることを確認した。

議案や請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。その経過と結果は、9月27日の本会議で各委員長から報告がありました。下記はその概要です。

## 総務

※各常任委員会の所管部署  
政策秘書室・総務部・財務部・会計課・行政委員会事務局等

### 総合評価方式における 入札業者増加の工夫を

【22年度決算】

歳出の一般管理費では、非核平和事業について、委員から、対象者の範囲を広げ、参加を促してほしいとの意見がありました。

# 委員会の 審査から

こんな質問、あんな意見もありました

総務常任委員会  
文教・建設常任委員会  
健康福祉常任委員会  
市民生活常任委員会

IT推進費では、委員から、情報化推進計画策定業務と今後の技術革新を踏まえた計画について質疑が出され、執行部から、情報化推進計画はあくまでも指針であり、今後の技術革新時には見直しながら進めたいとの説明がありました。



▲1号調整池（市立図書館前）

など、違う形での監査を広げているとの説明がありました。

防災費では、委員から、住民版地域防災計画等作成支援業務について質疑が出され、執行部から、戸田市の洪水ハザードマップをもとに市内46の自主防災会を対象に実施して

おり、今年度は10の自主防災会で実施しているとの説明がありました。

【1号調整池設備工事  
請負契約】

1号調整池設備工事請負契約では、委員から、総合評価方式での

## 文教・建設

都市整備部  
教育委員会

### 給食費の未納額を 減らす取り組みを

【22年度決算】

都市計画総務費では、マンション建設における風害について、認識を事業者に持たせるために、宅地開発等指導要綱に明文化する必要があるのでないかとの質疑があり、執行部から、各自治体に対して、アンケート調査を行って、その結果を参考に、検討したいとの説明がありました。

小学校費の学校建設費では、仮設教室借り

入札について、入札業者を増やす工夫をしてほしいとの意見が出され、執行部から、施工実績の金額設定を変えたいとの説明がありました。

ら、年間指導計画で行っている、学校教育では、大変厳しい状況であるが、より利用が進められるようPRしたいとの説明がありました。



▲学校給食センター（戸田競艇場対岸）

上げ料について、今後の児童数の推移を見ながら、校舎の建て替えも含め、検討しているのかとの質疑があり、執行部から、増築等は難しい状況にあるが、先を見越して検討していきたいとの説明がありました。

少年自然の家費では、学校教育の中で、さらなる活用についての質疑があり、執行部か

## 健康福祉

福祉部・こども青少年部  
福祉事務所  
医療保健センター

### 高齢者の安心拠点である 地域包括支援センターの充実を

【22年度決算】

高齢者福祉費では、敬老会の案内を、高齢者の方に敬意を表するとともに、安否確認をするため、郵送ではなく、直接届けることを検討してもらいたいという意見がありました。



▶市立地域包括支援センター（介護老人保健施設内）

【介護保険及び在宅介護支援事業特別会計歳入歳出決算】

地域包括支援センターの名称変更を当委員会の総意として要望したことに対して（関連18ページ）、執行部から業務内容の充実と合わせて検討していきたいという答弁がありま

また、美笹地区あんしんネットワークなど、新しい事業がふえていくと思うが、地域包括支援センターの人員は十分なのかという質疑があり、執行部から、まず非常勤職員の配置で対応していきたい

という答弁がありました。

【23年度補正予算】

福祉センター運営費では、西部福祉センターの老人いこいの室のお風呂の修繕に関して、早急に業者を決定して、修繕したいとの説明があり、市民が待ち望んでいることであり、速やかに修繕して

## 市民生活

市民生活部  
消防本部  
上下水道部

### 市民に身近な場所の 放射線量測定を

【22年度決算】

総務費の行政振興費では、ふるさと祭り事業への補助金が減額されたことについて、ふるさと祭り開催には、市の一層の協力が必要であり、補助金を復活するよう要望するとの意見が出されました。戸籍住民基本台帳費では、コンビニにおけ

る住民票等の交付状況について、事業を開始した23年1月から8月までに158件の利用があったことや、コンビニ交付に必要となる住基カードについて、23年7月、8月に住基カード用写真の無料撮影を実施するなど、住基カードの交付に力を入れていくとの説明が



▲空間放射線量の測定の様子（市スポーツセンター）

ありました。民生費の市民保養所費では、保養所の海拔が15メートル程度で、非常に低いことから、東日本大震災を踏まえ、避難訓練を実施しているとの説明があり、委員からは、今回の震災を教訓とし、指定管理者に万全を期すことを求めていくよう意見が出されました。

【23年度補正予算】

衛生費、環境保全費では、10月以降、業務委託ではなく、市が購入した放射線量測定器を活用し、空間放射線量を測定することに伴い、通学路など子供がよく通るところや、市民に身近なところを漏れなく測定してほしいとの要望が出されました。

# 討論

今定例会では、決算1件、議案2件に対して延べ4人の議員が討論を行いました。  
その概要は次のとおりです。

## 平成22年度 一般会計決算

**反対** 望月 久晴議員  
豊かな財力で、介護保険料の引き下げ等を

決算では、戸田市は引き続き豊かな財力を誇っている。小学生以上の子ども医療費無料化の早期実施、介護保険料の引き下げ等をすべきである。  
議員の海外派遣は必要性が全くない。最近の厳しい経済情勢もあり、多くの議会で議員の海外派遣は中止している。費用も高額であり、廃止すべきである。  
人権政策事業で、社会的に問題を起こしている特定団体の研修・会議に職員が参加する

ことは、正しい人権政策を定めるものである。

派遣保育士は労働条件が悪いため22年度も2名が1カ月でやめており、子供にも動揺を与えるなど、保育環境として好ましくない。生徒・児童の学習指導に役立たず、学校の序列化につながる全国学力・学習状況調査は参加すべきでない。よって、本決算に反対するものである。

**賛成** 秋元 良夫議員

**安定した財政運営を評価**

海外派遣は今後も、議会を初め各界・各層の交流を通じて海外の友好姉妹都市との

友好親善の輪が広がる取り組みをする必要がある。

人権問題の一つである同和問題に関して、心理的差別が依然として存在している。知識の習得と理解を深め、啓発や研修を推進する必要がある。

保育士の必要人員数は、市職員の産休や受け入れ児童等の状況により、毎年変動が生じる。常時、必要な人材を提供できる派遣会社には派遣を委託することは合理的な方策である。

全国学力・学習状況調査は学力レベルを調査するものであり、学校にとっても指導の成果を見きわめ、今後の指導の改善につながる情報となる。

市においては、収納率向上等、財源確保に努める一方、経費節減に努めた結果、22年度の実質収支は黒字となっており、安定した財政運営を行っていることを評価し、本決算に賛成する。

## 市税条例等の一部改正

**反対** 花井 伸子議員

**証券優遇税制の特例期間延長は問題**

この条例改正には、平成23年度で期限切れとなる上場株式等の配当及び譲渡所得などの税率を20%から10%に軽減する特例をさらに2年も延長することが含まれている。

庶民のわずかな預貯金には20%の税率をかけ、しかも、財政赤字と震災復興に苦しんでいるときに、大資産家だけを優遇する税制改正は問題であり、本案に反対する。

## 1号調整池設備工事 請負契約

**反対** 望月 久晴議員

**なぜ総合評価方式を採用したのか**

1号調整池設備工事は、機械・電機の高度な技術の必要のない

工事と説明しながら、技術を評価する総合評価方式を採用したことは、目的が不明確である。総合評価方式を採用せず、普通の一般競争入札で行えば、落札価格はかなり下げることが可能であったはずであり、本案に反対する。

## 議員提出・委員会提出議案(意見書)を全会一致で可決

◆学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書  
大規模地震等の災害が発生した場合に学校施設が地域の拠点として十分機能するよう政府に対し国の財政支援制度の改善、財政措置の拡充を要望するものです。

◆荒川水循環センターの放射性物質を含む下水汚泥等について、早急な対策を求める意見書  
下水汚泥やその焼却灰について、荒川水循環センターでは、依然として埋め立て処分を受け入れ先が決まらず、施設内に

保管されていることから、県に対し焼却灰の最終処分先を早急に決定し、施設内から撤去することなどを求めるものです。  
◆荒川水循環センターの上部利用計画に係る意見書(2件)  
県知事に対しては、太陽光発電施設の建設等を含め、その利用方法を検討していくこと。市長に対しては、現行の第5・7系列の上部利用計画案を、既に暫定利用している多目的広場再整備計画とすることを含め、その利用方法を検討するよう求めるものです。

## 熊木 照明 議員

## 今後の利活用は

## 法務局跡地建物

「地元の見解を酌み取り検討する」



議員 昨年12月議会において、新曽

南のコミュニティ施設として最優先に、今後40年近く使用可能な建物である法務局跡地建物を、無償譲渡を基本に国と交渉してほしい旨の質問をしたが、その後、市長初め執行部の積極的な交渉により、無償譲渡同等の安価での譲渡にこぎつけていただき、感謝している。そこで、今後の利活用について、市の考えを再度お伺いする。

課題や、自然災害への対策や課題を解決するスペースとしての利活用、また、地域コミュニティ施設としての利活用を、幾つかのフロアに分けて、できるだけ早い時期での利活用を目指し、整備したい。

議員 第3次埼玉県権限委譲方針において、パスポート事務の委譲が可能になった。本市の検討は。

総務部長 来年10月の委譲を目指し、検討を進めている。

総務部長 地元市民の見解をしっかりと酌み取り検討し、進めていく。

旅券(パスポート)申請について

# そこが ききたい



▲市役所屋上から見たスカイツリー

総務部長 大きな建物であることから、本庁舎が手狭になっている

議員 本庁舎は、さらに市民サービスの向上に向け、効率的なレイアウトを考えていただき、跡地建物は、地域とさらに検討を重ね、幅広い多世代間の交流を図れるコミュニティ施設として計画を進めていただきたい。



▲市が取得した元法務局戸田出張所



一般質問

避難所

災害時の障害者への対応は

「個々の支援体制等を検討する」



議員 東日本大震災で、いまだに多くのの方々

らを本市に置きかえる問題点はたくさんある。中でも障害者への対応は大変重要と考える。現在、市内の災害時要援護者の情報は、リストアップされているか。

議員 障害者は、多くの人と一緒に避難所生活は困難と考えるが、障害者等を対象とした

物品は備えているか。また、一人で避難できない方への対応は。

総務部長 市内2カ所に福祉避難所を指定しており、600人分用意している。一人で避難が困難な方へは、最寄りの避難所までは御近所の協力を期待し、その後、福祉避難所までは個々に対応する。



▲女川町総合運動場の仮設住宅

議員 避難所での物資は介護者も含めて準備対応を待つて早急に取り組んでいく。今回は五十センチ程度観測された津波だが、大きな被害をもたらすことはない。また、水門を閉鎖した。

市民生活部長 ④積極的な調査は行ってない。発見された場合には除染等の対応をしていく。⑤台数が足りなく、操作には技術が必要なこと、貸し出しは考えていない。

議員 危険感が足りない。やり過ぎくらいでちよūdい。真剣な取り組みを。

その他の質問

Q 発達障害の育児支援。子育てに役立つチラシ等、工夫していく。道路の安全と利用者のマナーについて。各世代に合わせて、わかりやすいチラシ等、検討する。

A 公有地については対応するが、民有地については所有者の責任になる。警察と連携して対応したい。

市民医療センター事務局長 ⑥希望する市民に外来診療で健康診断を実施したい。

上下水道部長 ③県に要望しているが、対策は打たれていない。年内にはいっぱいになってしまつので、継続的な放射線量の測定と安全な保管を要望する。



▲荒川水循環センター

た、障害者が個別に避難生活を送れる環境を準備するよう強く要望する。

遠藤 英樹 議員

震災後、本市の安全は守られているか

「やれることはやりたい」



議員 震災後の国の対応は国民に不安を与え

こそすれ、安心を与えない。市民を守るの自分たちだといふ気概を持って臨んでほしい。①ハザードマップの改訂②津波対策③高濃度放射性焼却灰の処分④ホットスポットの調査⑤放射線測定器の貸し出し⑥健



▲荒川水循環センター

介護保険料

平成24年度からの引き下げを

「値下げは難しいと考える」



議員 6月15日に成立した「介護サービス

基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」では、要介

護者を介護保険から切り離すことが可能になる「介護予防・日常生活支援総合事業」が市町村判断で創設できる。要介護者から介護を取り上げる事業実施は見送るべきである。

福祉部長 国から詳細等が示されたら判断していきたい。

議員 市の財政力を生かして、平成24年度からの介護保険料引き下げを強く要望する。

福祉部長 登録理由は、「生きがいづくり・社会参加」が41.9%、「健康維持・増進」と「経済的理由」が20



▲シルバー人材センター

本田 哲議員

シルバー人材センターの運営状況は

福祉部長 高齢者の自然増、介護サービス量の増加、特別養護老人ホーム2カ所の開設などを勘案すると、値下げは難しいと考える。

議員 現在、シルバー人材センターに登録する高齢者の主な理由は、また、県の最低賃金の時給750円を守ることが重要と考える。

・5%である。配分金は賃金とは異なるものだが、最低で1時間当たり750円であり、最低賃金を下回っていないと判断している。

細井 幸雄 議員

見直しは進んでいるか

「組織を拡充し鋭意進めている」



議員 東日本大震災は災害対策上、

貴重な教訓を残した。地域防災計画の見直しの進捗と主な内容は。

総務部長 危険管理防災課を増員し来年8月を目途に作業を行っている。見直しは災害時要援護者、帰宅困難者、放射能、液状化、

備蓄物資等々の対策を男女共同参画の視点も取り入れ行っている。最重要課題として、初動体制における、より実効性のある対応を図るため、災害対策本部体制の見直しを行っている。

議員 荒川氾濫は想定内だ。どう備えるか。

議員 会場問題も含め、市は助っ人の域から脱し、会議の輪の中心に入るべきだ。

地域防災計画

総務部長 危険管理防災課を増員し来年8月を目途に作業を行っている。見直しは災害時要援護者、帰宅困難者、放射能、液状化、

議員 計画書が完成する前に有事が発生した場合、どのような対応をされるか。



▲見直しが求められる市地域防災計画



議員 大災害時に被災地に膨大な救援物資

が届くことになる。市の計画ではスポーツセンターが受入れ施設となっている。この施設は同時に避難所にも指定されているのではないかと。受入れ施設は専用となる。避難所の指定から外して計画しておくべきではないか。

### 神谷 雄三 議員 受入れ施設と避難所が重複している

「重複している。見直す」

#### 救援物資

議員 市内には倉庫が数多くある。災害時に空き倉庫が把握できるよう、空き情報システムを構築できないか。仕分けのプロとして、物流関係者の人材リストを作成していただくか。  
議員 荒川にある戸田リバーステーションに

▼救援物資の受け入れ



運ばれた救援物資を輸送する体制はとられているのか。

議員 大災害時、河川は重要な物流手段となる。輸送体制充実のため、トラック協会との災害協定を検討していく。

#### その他の質問

議員 年少扶養控除が廃止され、次年度増収する見込額は。  
議員 個人市民税の増収見込額は約3億7000万円と見ている。

### 再生エネルギー

## 日本一のエコタウンを目指せ

「今後の課題として 研究していく」

#### 召田 厚 議員



議員 ①現在の本市の総電力量、公

一定規模以上の企業の使用電力量などを調査し、温室効果ガスの削減目標を達成するためにも、具体的な計画を作成してはどうか②スマートシティ、スマートコミュニティ、さらに、『発電電分離』という、地域の電力を地域で賄い、その仕組みに各家庭、事業所などとセンターをネットワークで結び管理するスマートグリッドな

議員 ①、市民、企業との協働による普及、促進について研究し、日本一のエコタウンを目指してはどうか③日本本来のモノづくりで頑張っている企業を応援したいという思いから、再生可能エネルギーに関連する企業、研究を行っている団体、企業を

議員 誘致し、さまざまな助成を行ってはどうか。このエネルギー関連企業は成長していくと思われ、市の戦略として研究してはどうか。  
議員 国や県も、これからの施策でもあり、動向を見て研究していく。

議員 市ではスマートシティ構想についても、今後さらに何ができるのか検討していきたい。

#### 戸田市のイメージアップについて

議員 市内のある地域に、市の目指す具体的なまちをつくり、だれにでもイメージがわく計画をしてはどうか。

議員 今後、政策秘書室長 シティセールスの観点により研究していく。



▶学校給食センターの太陽光発電パネル

### 一般質問

### 水害対策

## 河川への排水量増加を

「県と協議していきたい」



議員 8月26日の集中豪雨の被害状況はどう

であったか。

議員 水71件、交通規制3カ所です。

議員 国道17号東側のオリソピック通りの交通規制はできないか。

議員 警察と協議し、できるような検討したい。

▼冠水した菖蒲橋交差点



議員 戸二小通りで、マンホールの蓋から下水が噴出していたが、対策は。

議員 上下水道部長 県、川口市、本市の3者で調整したい。

議員 喜沢南の戸二小、戸田公園駅の周辺などでは、菖蒲川に排水できないか。  
上下水道部長 県の許可が必要なので、県と協議したい。

#### トコバスの2系統運行の評価は

議員 1月16日からトコバス東循環が喜沢循環、川岸循環に分かれたが、その評価・検証はされたか。

議員 7月にアンケート調査を行った。1日当たりの利用人数は22年度が98人、2路線運行後は102人で、運行費用は、22年度と比較して1.5倍に増加した。

議員 利用者の意見等調査して、よりよい方向で改善してもらいたい。

### 減災対策

### 三浦 芳一 議員

## 防災計画の見直しで安心なまちづくりを

「来年8月までに作業終了が目標」



議員 東日本大震災で新たな課題や問題点がある

議員 明らかに。本市も地域防災計画の見直しで、安心なまちづくりを望む。具体的にどこを見直すのか、いつまでに行うのかを伺う。

議員 作業終了を目標に、課題の収集、6月議会の議員の意見、町会や関係機関の意見を整理し、初動体制を含め、対策本部の体制、災害時要援護者対策、帰宅困難者対策、液化化対策等の見直しをしていく。

議員 避難所となる学校施設の防災機能向上に、国からのあらゆる補助金制度を活用して、バリアフリー化、多機能トイレ、シャワーなどの充実を図れ。

議員 既存の文科省、国交省等の財政支援制度を十分検討し、財源確保に努めていく。

#### ゲリラ豪雨対策

議員 いつも同じ方、同じ所に被害が出ている。何とか対策を打て。



▲ボランティアの後方支援拠点(岩手県遠野市)

議員 事前に土嚢や水中ポンプの貸与、止水板設置の指導。定期的に連絡していく。

#### 丁寧な窓口対応を

議員 窓口職員の対応は非常に重要であり、市民に尽くす心が大事であり、根本である。さらなる親切・丁寧な対応を望む。

議員 職員一人ひとりが市民の気持ちになって対応することを中心、市民サービス向上に一層努める。



一般質問

聴力検査

高齢者への導入で

認知症予防を

「介護予防事業の中で検討していく」



議員 寝たきりになる要因の一つに、耳の疾患が挙げられる。難聴も認知症も、症状が進行してから気づく。難聴

手塚 静枝 議員

から認知症へと進展させないためには、定期的な検診が有効である。

①高齢者の特定健診に最新型簡易チェッカーを用いた聴力検査を導入してはどうか②難聴の早期発見に向け、要



「簡易聴覚チェッカー」(ペンキンスポイス) (ジェービーエレクトロニクス株式会社提供)

支援者にも聴力検査を導入してはどうか。

福祉部長 ①特定健診は個別方式のため、各医師の調整は難しい②難聴などの早期発見は重要である。介護予防

防災対策について

議員 ①災害後の給水対策は万全か。復旧の

集約し、実施計画に反映させていきたい。

議員 再生可能エネルギー普及の観点から、環境担当部局では、どのように考えるか。

災害協定は結んでいるか②家具転倒防止の器具や取りつけ工事費の助成をしようか③上空からの救助・救援を迅速化させるため、学校屋上等へ校名表示をしてはどうか。

上下水道部長

①災害時の罹災者数を想定した、安全な水質の水量が十分確保されている。戸田市水道協同組合と協定書を結び応急復旧を行うこととして

その他の質問

Q 障害者虐待防止法の取り組みについて。A 予防や早期発見への方策を検討する。

総務部長 ②転倒防止対策に積極的に周知を図る。助成については研究する。③学校屋上のヘリサイン表示は、前向きに検討している。

も新エネルギー政策に取り組みべきではないか。

副市長

将来に向け、国のエネルギー政策を練り直すことが課題となっている。市として、どのような取り組みが可能なのか、国や先行自治体の情報を積極的に収集しながら、広い視野で研究を行い、市の方向性を検討していきたい。

上部利用計画

荒川水循環センターに太陽光発電施設を

「都市公園として検討している」

山崎 雅俊 議員



議員 現在、検討が進められている。荒川水循環センター上部利用計画に、太陽光発電所を加えられないか。

都市整備部長 平成15年に「大地の森」計画を策定して、県民や市民が広く利用できるよう検討してきた。今後、4回の懇談会にて意見を



▲未整備の第1～第4系列(荒川水循環センター)

市民生活部長

エネルギーの確保、地球温暖化対策の点で、再生エネルギー施設導入の可能性が高い施設ではないかと考える。太陽光発電

戸田市表彰

対象者を見直しては

「現在のところ考えていない」



議員 現在の戸田市表彰制度において、議員の特別職が表彰対象となっている。行政のお手盛りに対する厳し

酒井 郁郎 議員

い市民感情を考慮し、対象外としてはどうか。

図書館を乳幼児にも使いやすく

政策秘書室長 現在のところ、表彰基準や制度の再検討は考えていない。

議員 従来、図書館は、乳幼児の利用に余り配慮されてこなかった。一方、この時期に読書習慣をつけられ

馬場 栄一郎 議員

サービス受給待機者の出現を防げ

「総合振興計画で定員を増やす」



議員 障害者自立支援法及び児童福祉法が来年4月に改正施行されるが、戸田市への影響は。また、戸田市障害福祉計画の見直しは。

福祉部長 施設の実施主体の変更や事業費の4分の1を新たに市で負担しなければならぬ。戸田市障害福祉計

画は、第3期が平成24年度から始まるが、国から指針が示されていない。国の動向を見て、計画を策定する。

議員 改正によって新設される「放課後等デイサービス」の整備は。

福祉部長 放課後、訓練を継続的に提供することにより、障がい児の自立の促進、放課後



▲図書館の読み聞かせ

生の財産となる。①図書館や各分室に、ゆつたり絵本の読み聞かせができるスペースを確保する②ベビーカーの貸し出しや「あかちゃん」の表示を目立たせることで、保護者とその他の来館者の双方に意識を高めてもらう③授乳室や廊下などを、乳幼児にも親しみやすい明るい雰囲気に変える、などを検討してはどうか。

教育部長

①スペースの問題はあるが、努力したい。②③についてはLED照明に切り替えたり案内表示を出すなど、工夫したい。

放課後児童クラブ」からの移行も考えられる。

議員 改正により児童発達支援が位置付けられたことで、関連施設の利用者が増加する可能性がある。この事業は、採算性が厳しい事業である。市は、需要動向を見極め、待機障害児の出現がないように、事業者が助成などの支援を行い、新規参

その他の質問

Q 美笹安心ネットワークの他地区展開は。A 各地域包括支援センターの考えを尊重し、体制づくりを進める。

\*特別職：選挙による選出や地方議会の同意が必要とされている職。市長や市議会議員など。





議員 新年度入所時に認可保育所の入所待ちの児童が多数存在しているが、多くが0歳、1歳、2歳の低年齢児である。国の指針である平成26年までの目標を満たす低年齢向け保育事業実施の考えは。

議員 新年度入所時に認可保育所の入所待ちの児童が多数存在しているが、多くが0歳、1歳、2歳の低年齢児である。国の指針である平成26年までの目標を満たす低年齢向け保育事業実施の考えは。

こども青少年部長 4

鈴木 麗子 議員

### 低年齢児保育の強化と市民優先の入所基準を

「保育ママ制度や入所基準表も研究」

#### 待機児童

議員 保育所入所審査のための保育基準表は保育を実施する自治体で作成されるが、審査内容において市民利用の優越性や収入に対する考慮についてどうか。

こども青少年部長 近隣市も参考に研究検討していく。

災害時の仮設住宅政策と広域避難体制

議員 災害時、住居を



▲草加市の低年齢児童保育室

なくした被災者に緊急仮設住宅の提供がされるが、同様に民間賃貸住宅の情報提供もすべきた。また仮設住宅用地として競艇所有の駐車場利用も考えてはどうか。広域避難の場合の移動手手段はどうか。

総務部長 民間住宅の情報提供も行う。仮設住宅用地としての競艇

場駐車場も協議したい。また、広域避難にはバス等の提供も考えらるとともに、相互協定市との連携体制も協議し、強化していく。

#### 岡寄 郁子 議員

### 見直しは市民参加で

「検討段階から参加できるようにする」

ら市民参加ができるようにする。

給食の放射性物質検査、食材の対象拡大を

議員 現在の給食食材の検査は、葉物やナス・キュウリなどの果菜だけだ。根菜、肉、米など、対象を広げるべきでは。

教育部長 新たに根菜や牛乳も検査する。米は学校給食会で検査済みのものを購入しているの

で安全。牛肉は給食に使用していない。



▲防災訓練（氷川町）

議員 個人への測定機貸し出しを求める。

#### その他の質問

Q ポリオ不活化ワクチンへの切り替え時期方法は。

A 国の見直しは、早ければ来年度中、4種混合ワクチンで。市としては、無料で、しばらくは生ワクチン集団接種も続ける。

#### 一般質問

### ごみ収集

### まごころ収集の充実・事業化へ

「週1回を2回に拡大へ調整中」



議員 高齢者、障がい者等世帯等で、家庭

ごみを集積所まで出すことが困難な家庭が増えている。現在ボランティアで行われている『まごころ収集』の状況と、今後の考え方は。

市民生活部長 現在、市内14世帯が登録、11世帯を個別収集している。今後は高齢者の増加が予想されることから、現在の週1回を週2回にして、60世帯の受け入れ拡大に向けて収集業者と調整する。

「戸田ふるさと祭り」の会場を戻して

議員 「ふるさと祭りの会場を戻して」という声が大きくなっている。関係団体と協議・

#### 花井 伸子 議員

検討を行うべき。

市民生活部長 平成22年に実施したアンケートでは、回答者の49%が市役所という結果だった。今後、「戸田ふるさと祭り中長期構想会議」の中で検討するよう申し入れる。

議員 市が祭りを一緒に取り組み、市民が楽しみにしている祭りが、縮小されることなく、補助金も充実させるよう、強く要望する。



▲今年開催されたふるさと祭り

中名生 隆 議員

### セシウム対策を万全に

「安全に考慮して対応する」



議員 荒川水循環センターの流入量は一日で80万4470mあり、500トンの汚泥が出てくる。この汚泥を焼却すると13トンの焼却灰が出て、多量の放射性セシウムが含まれている。一日に出る汚泥中の総セシウム量と焼却灰中の総セシウム量を差し引くと、約300万ベクレルのセシウム量の行方が、よくわからない。和光市や板橋区の施設が3つも集合している環境にある。焼却炉から大気中に拡散しているのか、その実態調査を実施すべきである。



▲荒川水循環センターの焼却炉

議員 大規模災害では、大量のがれきや粗大ごみが発生する。廃棄物処理等の検討は。

市民生活部長 荒川河川敷を利用し、処理体制に努める。

生ごみ資源化について

議員 障害者・高齢者雇用の堆肥化事業で、都市と農業の循環を。市民生活部長 生ごみ堆肥循環システムを、より推進をする。

法務局跡地について

議員 防災倉庫・緊急避難所・高齢者施設は。

総務部長 3つとも、地域の声を聞いて進めていく予定である。

#### 放射能流出

震災廃棄物について

# 委員会 行政視察レポート

## 文教・建設常任委員会

兵庫県宝塚市

### 手続きの義務化で 市民や事業者と直接話し合い

宝塚市は、協働によるまちづくりを進めるために、開発まちづく



▲8月3日 宝塚市役所にて

り条例を施行しました。手続きの義務化を行い、市民や事業者と直接話し合いをする。ことで、まちづくりに関する意見が明確になっています。

#### 【意見・感想】

宝塚市は、地区住民が地区まちづくりルールを策定するなど、まちづくりを実現するた

めの住民意識が高く、本市においても、条例化に向けての検討を始めてみてはどうかと感じました。

#### 【意見】

千代田区では、高齢者虐待防止を区の重要課題の一つに位置づけ、「虐待を起こさない・高齢者を尊ぶまち」をスローガンに掲げ、住民、行政、関係機関が一丸となって、

千代田区では、高齢者虐待防止を区の重要課題の一つに位置づけ、「虐待を起こさない・高齢者を尊ぶまち」をスローガンに掲げ、住民、行政、関係機関が一丸となって、



▲7月21日 千代田区役所にて

千代田区では、高齢者虐待防止を区の重要課題の一つに位置づけ、「虐待を起こさない・高齢者を尊ぶまち」をスローガンに掲げ、住民、行政、関係機関が一丸となって、

「高齢者あんしんセンター」に変更しておりました。本市においても名称変更するべきであると考え、当委員会の総意として執行部に名称変更を要望しました。（関連7ページ）。

## 健康福祉常任委員会

東京都千代田区

### 高齢者を尊ぶ まちづくりに向けて

閉会中に実施した行政視察について、9月1日の本会議冒頭に報告がありました。その概要は次のとおりです。

## 交通対策特別委員会

新潟県三条市、魚沼市

### 公共交通の充実による 中心市街地の活性化

三条市では、市内各地に設置された停留所間を、予約に応じてタクシー車両が運行する、停留所設置型のデマンド交通を実施してあります。利用者数も伸びており、今後、中心市街地の活性化にも、このデマ

会実験として導入している地域乗合タクシーや地域巡回バスと、既存のバス路線とを併せて活用することで、市内各地域から、市の中心部へのスムーズな乗り入れを可能にしておりました。

魚沼市では、魚沼市地域公共交通連携計画の策定を始め、公共交通の見直しを進めており、社



▲7月14日 魚沼市役所にて

地域性の違いもあり、両市の取り組みを、ただちに本市に導入することは難しいものの、トコバスの見直しなどを進めていく中で、将来的に検討していく意見にまとまりました。

#### 【意見・感想】

松本市議会では、議会基本条例制定後、政策部会、広報部会、交流部会、進行管理部会の4つの任意部会からなる推進組織を設置しました。部会には全議員が所属し、進行管理部会が他の部会の進行管理や検証を行うなど、

#### 【意見・感想】

当委員会では、議会基本条例の策定に向け



▲7月13日 松本市役所にて

## 議会基本条例制定後の 実効性を確保

### 議会改革特別委員会

長野県松本市、長野市

て条例案を作成し、協議しておりますが、条例制定はあくまでも通過点であり、制定後の運用が大事です。視察した中でも松本市の推進組織については、実効性を確保するには効果的であり、本市議会においても参考となる部分がありました。

### 傍聴席へどうぞ

議会の傍聴は、生で市政の動きを知る絶好のチャンスです。ぜひ一度、議場に足を運んでみてください。

議場には、一般傍聴席53席（車いす席2席含む）が設けられています。市役所8階の傍聴席入口で受付簿に住所・氏名などを記入すれば、だれでも傍聴ができます。

車いすで傍聴をご希望の方は、職員がご案内いたしますので、あらかじめご来庁の日時がわかれば、議会事務局までご連絡ください。

また、聴覚障害のある方のために、一般質問を手話通訳によって傍聴することもできます。



傍聴席入口

### 傍聴者アンケートから

平成23年9月定例会分

9月定例会における傍聴者は、本会議で27人でした。傍聴した方のうち、10名の方々に回答をいただきました。

○部長答弁「えー」が多く、聞きにくい。答弁は明確に、的確に、短くしてほしい。

○議員の私語が多く、真剣さが足りない。他の議員の意見や議論も、しっかり聞く必要あり。

○自分の居住地にかかわる質問であり、直接影響を受ける立場にあるため、傍聴させていただきました。議会は市民の生命と財産を守るため、そして市民の願いを

実現させるための、民主主義が活かされる地方自治体の大切な役割を担っているものと考えます。それにもかかわらず、相変わらず私語が多いのには失望です（でも、以前よりは減りましたが……）。各議員が、本当に私たち市民のために、襟を正して議会に臨んでいただけるよう切望します。

